東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」平成31年4月～11月（途中版）

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
42	大田	1号炉	休炉	R1.10.20	20:26	R1.10.30	0:02	R1.11.1	16:11	R1.11.2	7:30	空気予熱器蒸気流量上上限警報が発報したため、調査を実施したところ、蒸気式空気予熱器の内部で異音がしていた。蒸気漏れが疑われるため、調査のため、焼却炉を立ち下げた。
41	渋谷	1号ごみクレーン	停止	R1.10.28	18:00					R1.10.31	16:00	No.1ごみクレーンの点検中、支持ワイヤー2本のキンクを発見した。このためクレーンを使用禁止とした。
40	世田谷	2号炉	休炉	R1.10.24	3:45	R1.10.24	9:09	R1.11.1	22:44	R1.11.2	14:30	2号ごみクレーン巻上インバータトリップの多発後、ごみクレーン巻上直流ヒューズ断となり、破砕ごみバンカ内の2号炉破砕ごみホッパ直前で運転不能となった。ごみ投入不可能となったため2号炉を立ち下げた。
39	世田谷	2号ごみクレーン	停止	R1.10.24	3:45							2号ごみクレーン巻上インバータトリップの多発後、ごみクレーン巻上直流ヒューズ断となり、破砕ごみバンカ内の2号炉破砕ごみホッパ直前で運転不能となった。
38	有明	1号炉	休炉	R1.10.23	18:30	R1.10.23	21:30	R1.11.1	14:35	R1.11.2	5:12	No.1飛灰搬送装置の閉塞解除作業を実施中、No.2飛灰搬送装置の閉塞が発生した。解除が困難なため、1号炉を立ち下げた。
37	北	1号炉	休炉	R1.10.20	11:50	R1.10.21	13:00	R1.10.24	23:13	R1.10.25	13:56	場内点検中に、ごみ供給部水冷ジャケット付近からの漏水を確認した。調査するため、焼却炉を立ち下げた。
36	葛飾	2号ごみクレーン	停止	R1.10.15	18:00					R1.10.17	13:00	No.2ごみクレーン日常点検時にワイヤロープの一部破断を確認したため、No.2ごみクレーンを停止した。
35	杉並	1号炉	休炉	R1.10.4	14:38	R1.10.4	15:40	R1.10.15	15:09	R1.10.16	14:38	1号No.1ボイラ給水ポンプから異音、給水の漏れが発生した。調査のため、蒸気タービン及び焼却炉を立下げた。
34	足立	1号炉	休炉	R1.10.2	14:00	R1.10.2	16:25	R1.10.3	22:04	R1.10.4	15:21	No.1乾燥ストーカ下シュートの閉塞を確認したので、調査のため焼却炉を立ち下げた。
33	練馬	2号炉	休炉	R1.9.22	11:45	R1.9.22	15:45	R1.9.23	16:41	R1.9.24	13:13	2号燃焼ストーカ（左側）の動作不良を確認し、現場操作を試みるも復旧の見込みが立たないため焼却炉を立ち下げた。
32	北	1号ごみクレーン	停止	R1.9.18	12:00					R1.9.19	16:00	1号ごみクレーン運転中に、制御電源回路が漏電しクレーンが停止した。再起動したところ、バケットがバンカに降りたまま上昇しなくなった。原因は、雨漏りによりトロリーに水がかかったためと思われるが詳細を調査中である。
31	多摩川	Bごみクレーン	停止	R1.9.15	18:56					R1.10.4	18:00	ごみクレーンB号故障が発報した。現場確認したところ、給電ケーブルがバケットの爪に絡まってケーブルが損傷し、巻取り装置が故障していたため、ごみクレーンB号を停止した。
30	墨田	1号炉	休炉	R1.9.12	11:40	R1.9.12	12:09	R1.9.13	14:20	R1.9.14	12:51	計装関係の遮断器が作動し、運転制御に必要な計器が異常な値となったため、燃焼制御が困難となり焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」から作成

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」平成31年4月～11月（途中版）

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
29	墨田	1号炉	休炉	R1.9.9	2:23	R1.9.9	4:55	R1.9.11	14:00	R1.9.12	11:05	No.2アンモニア水貯槽において、アンモニア水の漏えいが発生した。したがって、アンモニア水の供給を行えず、窒素酸化物の濃度制御が困難となったため、1号炉を立ち下げた。
28	大田	2号ごみクレーン	停止	R1.9.5	15:33					R1.9.6	16:30	No.2ごみクレーン開閉装置異常(インバータ周波数異常)の警報が発報し、バケットの開閉ができなくなった。給電ケーブル又は開閉モータの絶縁不良が疑われるため、ごみクレーンを停止した。
27	足立	2号炉	休炉	R1.9.5	14:20	R1.9.5	16:37	R1.9.12	16:43	R1.9.13	10:12	No.3乾燥ストーカ下シュートの閉塞を確認したので、調査のため焼却炉を立下げた。
26	千歳	1号炉	休炉	R1.9.5	5:52	R1.9.5	7:01	R1.9.14	15:06	R1.9.15	11:01	No.2ボイラダストコンベヤの故障が発生した。現場にて正逆転を試みたが、動作不能であったため運転継続は困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
25	北	1号炉	休炉	R1.8.20	10:00	R1.8.29	16:10	R1.9.9	20:42	R1.9.10	11:14	ラインオフダンパ3箇所で腐食による穴あき及び亀裂が発生した。仮補修を行い経過を観察していたが改善されなかったため、焼却炉を立下げ、補修工事を行う。
24	豊島	1号ごみクレーン	停止	R1.8.26	9:47					R1.8.26	11:00	1号ごみクレーン自動運転中、西側走行モータ付近より異音が発生した。調査の結果、ギアボックス内部のピニオン部のがたつきが確認されたため、クレーンを格納し、当該モータを取り外して詳細調査を行った。
23	中央	2号ごみクレーン	停止	R1.8.11	17:28					R1.8.14	11:00	2号ごみクレーン自動運転時、乱巻警報が発報したため、点検を実施した。ワイヤロープ4本のうち、1本のストランドが破断していたため、使用禁止とした。
22	港	2号炉	休炉	R1.8.6	10:55	R1.8.6	13:30	R1.8.16	21:00	R1.8.17	11:02	No.1アンモニア水ポンプの整備中に、継手からアンモニア水が漏えいした。窒素酸化物除去設備にアンモニア水の供給がおこなえず、窒素酸化物の制御が困難となったため、2号炉を立下げた。
21	港	3号炉	休炉	R1.8.6	10:55	R1.8.6	12:30	R1.8.18	21:00	R1.8.19	10:31	No.1アンモニア水ポンプの整備中に、継手からアンモニア水が漏えいした。窒素酸化物除去設備にアンモニア水の供給がおこなえず、窒素酸化物の制御が困難となったため、3号炉を立下げた。
20	千歳	2号ごみクレーン	停止	R1.8.2	17:41					R1.8.5	15:28	No.2ごみクレーンバケット給電ケーブルリール巻上用電動機の冷却用ファン電動機より異音およびサーマルトリップが発生したため、調査補修のため停止した。
19	練馬	1号炉	休炉	R1.8.1	10:40	R1.8.1	10:40	R1.8.1	10:57	R1.8.1	11:31	1号焼却炉運転中、1号誘引ファンがインバータの過電圧によりトリップし停止した。そのため焼却炉がインターロックにより緊急停止した。
18	灰溶融・多摩川		休炉	R1.7.14	4:00	R1.7.14	4:00			R1.7.17	7:00	スラグポート差圧が上昇し、溶融炉内圧を負圧に保てなくなったため、溶融炉を立ち下げた。
17	港	2号炉	休炉	R1.6.7	10:00	R1.7.12	14:00	R1.7.23	21:08	R1.7.24	11:18	ボイラ下部ホッパ閉塞の疑いがあり、炉内圧力制御が徐々に困難となったため焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」から作成

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」平成31年4月～11月（途中版）

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
16	新江東	3号炉	休炉	R1.7.10	5:23	R1.7.11	14:00	R1.7.16	15:29	R1.7.17	17:34	3号炉バグフィルターの差圧が計測値の上限（3,000Pa）を振り切った。調査したところ、循環ダンパが閉まり切らず、バグフィルターの逆洗が十分にできていなかった。補修のため3号炉を立ち下げる。
15	新江東	1号ごみクレー	停止	R1.7.4	8:06					R1.7.5	14:24	「№1ごみクレーンバケット電動機ブレーカトリップ」警報が発報した。ブレーカの二次側及び電動機にて絶縁測定を実施したところ、W相の給電ケーブルの絶縁がゼロであった。横走行・巻上はできるがバケット開閉ができないため、№1ごみクレーンを格納し停止した。
14	北	1号ごみクレー	停止	R1.6.27	23:00					R1.6.29	11:30	1号ごみクレーン点検時に、北東側支持ワイヤーロープにキンクが発生していることを発見した。そのため、1号ごみクレーンを使用禁止とした。
13	板橋	2号炉	休炉	R1.6.7	17:30	R1.6.15	0:00	R1.6.21	15:00	R1.6.22	14:03	ろ過式集じん機A-1室の入口ダクト・ホッパが閉塞した。槌打等の処置を試みたが回復せず、復旧のため立ち下げた。
12	渋谷	1号ごみクレー	停止	R1.6.7	4:04					R1.6.7	16:23	No.1ごみクレーンの主回路トリップ警報が発報した。調査したところ、給電ケーブル巻上用電動機の不良が疑われ、交換することとした。クレーンは格納位置に移動し停止した。
11	港	3号炉	休炉	R1.6.6	23:48	R1.6.7	3:00	R1.7.8	13:15	R1.7.9	11:12	ボイラ下部ホッパの閉塞により、炉内圧力制御が困難となったため焼却炉を立ち下げた。
10	港	2号炉	休炉	R1.5.28	14:05	R1.5.28	15:40	R1.5.28	17:31	R1.5.28	23:00	ごみホッパがブリッジし、解除不能なため、焼却炉を立下げた。
9	板橋	1号炉	休炉	H31.3.30	11:00	R1.5.24	0:00	R1.5.30	21:37	R1.5.31	15:11	ごみホッパジャケットからの冷却水漏れが発生し、冷却水量を抑えて運転を継続していたが、燃焼悪化のため焼却炉を立ち下げた。
8	練馬	1号ごみクレー	停止	R1.5.20	14:06					R1.5.21	15:30	1号ごみクレーンを手動運転中、クレーンバケットへの給電ケーブルが断線したため、主幹ブレーカがトリップし、クレーンバケットの開閉が出来なくなった。故障機を格納位置に退避させ、使用を停止した。
7	板橋	2号炉	休炉	H31.3.22	16:20	R1.5.10	0:00	R1.5.16	20:04	R1.5.17	16:11	ごみホッパジャケットからの冷却水漏れが発生し、冷却水量を抑えて運転を継続していたが、燃焼悪化のため焼却炉を立ち下げた。
6	中央	タービン発電機	停止	H31.4.30	10:50					R1.5.6	9:24	発電機の始動時に発電機重故障（AVR故障）のため、発電機の立上げを中止した。
5	世田谷	2号炉	休炉	H31.4.27	17:15	H31.4.29	11:49	R1.5.1	22:15	R1.5.2	17:03	スートブロワ蒸気管の保温材下部からドレンの滴下を発見した。調査したところ、スートブロワ主蒸気止め弁（手動弁）一次側からの蒸気もれが原因であった。フランジパッキン取替のため、焼却炉を立ち下げた。
4	中央	2号炉	休炉	H31.4.29	1:08	H31.4.29	2:13	H31.4.29	11:32	H31.4.29	20:16	№1燃焼ストーカ異常が発報し不具合が発生した。調査のため焼却炉を立下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」から作成

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」平成31年4月～11月（途中版）

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
3	世田谷	1号ごみクレー	停止	H31.4.26	13:55					H31.4.26	21:05	クレーンバケット油温上昇警報が発報し、1号ごみクレーンのバケット開閉ができなくなった。現場計では油温に異常がなく、電気系の異常が疑われたため使用停止した。
2	世田谷	2号ごみクレー	停止	H31.4.24	13:53					H31.4.29	17:55	2号ごみクレーンバケット開閉MCCBがサーマルトリップした。現場確認したところ、給電ケーブルのスリップリング周辺が一部溶けていた。格納位置まで移動させ、使用を停止した。
1	豊島	ごみクレーン	停止	H31.4.8	17:59					H31.4.9	16:00	1号ごみクレーン自動運転中、「巻上作業オーバータイム」警報が発報した。調査の結果、給電ケーブルの切断を発見した。
74	千歳	1号炉	休炉	H31.3.30	22:29	H31.3.30	23:45	H31.4.4	14:16	H31.4.5	11:11	「炉・ボイラ系 炉用C/C PLC 異常発生」が発報し、押込ファン・二次燃焼ファンが停止した。押込ファン・二次燃焼ファンの手動運転を行ったが、運転継続は困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
73	練馬	ごみクレーン	停止	H31.3.24	6:50					H31.4.5	12:10	№2ごみクレーンを手動運転中、「バケットMCB・サーマルトリップ」が発生しクレーンバケットの開閉が出来なくなった。故障機を格納位置に退避させ、使用を停止した。
68	港	1号炉	休炉	H31.2.21	15:30	H31.2.21	17:00	R1.6.7	21:00	R1.6.8	11:10	1号FDFから異常振動音が確認されたため、焼却炉を立ち下げる。 3ヶ月半の停止

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」から作成